2026 年 11 月 13 日

プレスリリース

株式会社 YUIMA NAKAZATO LABORATORY
FASHION FRONTIER PROGRAM
一般財団法人 JR 東日本文化創造財団
MoN Takanawa: The Museum of Narratives

**ファッションの創造性はどこへ向かうのか。12 月 12 日 MoN Takanawa にて開催「FFP FORUM 2026 -SYMPOSIUM & AWARD FINAL-」のシンポジウム登壇者を発表**
**― 小泉智貴、舘鼻則孝、津野青嵐、中里唯馬、林ひかり、山縣良和が集結。既存の枠組みにとらわれず、独自の表現を追求するデザイナーたちがファッションの未来を語る**




FASHION FRONTIER PROGRAM（以下、FFP）と、2026 年度の連携機関である MoN Takanawa: The Museum of Narratives（モン タカナワ: ザ ミュージアム オブ ナラティブズ／以下、MoN Takanawa）は、2026 年 12 月 12 日（土）、MoN Takanawa にて初となる「FFP FORUM 2026 -SYMPOSIUM & AWARD FINAL-」を開催します。本イベントは、ファッションの豊かな創造性とこれからの可能性を探るシンポジウム、次世代クリエイターによる最終プレゼンテーション、そして 2026 年度の受賞者を発表する授賞式の 3 つのプログラムで構成されます。
今回のシンポジウムの登壇者として、小泉智貴、舘鼻則孝、津野青嵐、中里唯馬、林ひかり、山縣良和の 6 名が決定しました。ファシリテーターは渡辺三津子が務めます。従来のファッションブランド運営や服づくりの枠組みにとどまらず、多様な表現や活動を展開してきたデザイナーたちが一堂に会し、それぞれの創作の原点や、ものづくりへの思い、ファッション産業や社会へのまなざしを通して、これからのファッションの可能性を語り合います。
FFP 発起人の中里唯馬は、MoN Takanawa のクリエイティブ・パートナーも務めています。MoN Takanawa では、さまざまな領域のクリエイターやアーティストとともに、分野を横断した実験的な取り組みを展開しており、今回のシンポジウムも、ファッションの表現領域を広げ、その未来を考える機会を MoN Takanawa と共創します。
また、FFP では毎年、創造性と社会的責任を両立させながら、新しい価値観や未来のあり方を提示するクリエイターに向けたアワードを開催しており、当日は 2026 年度ファイナリスト 8 名による最終プレゼンテーションと、受賞者 3 名を発表する授賞式を実施します。これまで関係者を中心に開催してきた最終審査・授賞式を、今年は初めて一般公開します。
ファッションやデザイン、ものづくりに携わる方々はもちろん、新しい表現や創造性に関心を持つすべての方に向けて、ファッションの未来をともに考える一日をお届けします。

**SYMPOSIUM｜ファッションの多様な創造性に光を当てる**
ファッションデザイナーの仕事とは、何でしょうか。服をデザインし、コレクションを発表し、ブランドを運営する。そうした従来の活動の枠組みにとどまらず、衣服や装う行為を通して、独自の表現を追求するデザイナーたちがいます。そこには、一人ひとりの思想や美意識、ものづくりへの情熱、そして社会への問いが込められています。
今回のシンポジウムでは、それぞれ異なる道を歩み、独自の活動を切り拓いてきた 6 名のファッションデザイナーが一堂に会します。なぜファッションという表現を選び、現在の活動にたどり着いたのか。創作を続けるなかで、ファッション産業や社会をどのように見つめているのか。そして、これからどのような未来を描こうとしているのか。
大量にものが生み出され、産業全体のスピードが早まり続ける現代において、ものをつくること、表現すること、そして創造し続けることには、どのような意味があるのでしょうか。それぞれの創作の原点から現在の活動、そして未来への展望までをたどりながら、ファッション産業における創造性のあり方の変化にも目を向けます。
普段は異なる場所で活動するデザイナーたちが同じ場で言葉を交わすことで、個々の活動からは見えてこなかった共通する思いや、新たな可能性が浮かび上がるかもしれません。ファッションが持つ豊かな創造性に改めて光を当て、これからのファッションの未来を考えるシンポジウムです。

**シンポジウム登壇者**

- 小泉智貴（TOMO KOIZUMI｜ドレスデザイナー / 美術作家）
- 舘鼻則孝（NORITAKA TATEHANA｜アーティスト）
- 津野青嵐（アーティスト / ファッションデザイナー / 看護師）
- 中里唯馬（YUIMA NAKAZATO｜ファッションデザイナー）
- 林ひかり（Hikari Hayashi｜アーティスト / ファッションデザイナー）
- 山縣良和（writtenafterwards｜writtenafterwards 代表 / coconogacco 代表）



**ファシリテーター：渡辺三津子（ファッションジャーナリスト）**
※敬称略。

**FINAL PRESENTATION & AWARD CEREMONY｜次世代クリエイターたちが描く、ファッションの未来**
FFP は、ファッションデザイナーの中里唯馬が発起人となり、2021 年にスタートした、ファッションの未来を担う人材を発掘・育成するプログラムです。ファッションを単なる衣服やトレンドとして捉えるのではなく、社会や環境と深く関わるものとして考え、創造性と社会的責任を両立させながら、新しい価値観や未来のあり方を提示することを目指しています。
2026 年度は、選出された 16 名のセミファイナリストが、さまざまな領域の専門家による講義やフィードバックを通して、自身の表現を深めてきました。今年度は、MoN Takanawa を連携機関として、同施設内でも講義や中間審査を実施。参加者が学び、対話を重ねてきたこの場所で、いよいよ最終作品の発表を迎えます。12 月 12 日（土）の最終プレゼンテーションでは、中間審査を通過した 8 名のファイナリストが、これまでの探究と創作の成果を発表します。多様な分野の第一線で活躍する審査員たちが、ファイナリストの表現にどのような問いを投げかけ、どのような視点からコメントするのか。その対話も見どころの一つです。 続く授賞式では、最終審査を経て選出される 3 名の受賞者を発表します。これまで関係者を中心に開催してきた最終審査・授賞式を、今年は初めて一般公開。これからのファッションを担うクリエイターたちが、自らの問いやビジョンを社会に提示する瞬間に立ち会うことができます。

**FASHION FRONTIER PROGRAM 2026 審査員**



| | |
|---|---|
| 寒川 裕人 | ｜美術家 |
| 栗野 宏文 | ｜株式会社ユナイテッドアローズ上級顧問<br>クリエイティブディレクション担当 |
| 五箇 公一 | ｜国立環境研究所 生物多様性領域 特命研究員 |
| 坂本 美雨 | ｜ミュージシャン |
| サラ・ソッザーニ・マイノ | ｜Sozzani 財団 クリエイティブディレクター |
| 中里 唯馬 | ｜ファッションデザイナー |
| ナニーネ・リニング | ｜スカピノ・バレエ・ロッテルダム<br>アーティスティックディレクター / オペラディレクター |
| 宮田 裕章 | ｜慶應大学医学部教授 |
| 渡辺 三津子 | ｜ファッションジャーナリスト |

**今年度ファイナリスト**

| | |
|---|---|
| コイ アレキサンダー | ｜USA / Canada |
| 礒元アリシア茉彩 | ｜Japan |
| 片岡弘生 | ｜Japan |
| 佐野結翔 | ｜Japan |
| 髙平ふみ | ｜Japan |
| 成田英至 | ｜Japan |
| ナタリー・フッテラー | ｜Austria |
| ジェシカ・ノエミ・プショ | ｜Argentina |

**25 度受賞者**

| | |
|---|---|
| 林 ひかり | ｜Japan |
| エミリー・ミサキ・ホン | ｜Australia |

**開催概要**
**イベント名：** FFP FORUM 2026 -SYMPOSIUM & AWARD FINAL-
**開催日：** 2026 年 12 月 12 日（土）12:30 – 20:30　開場：12:00（予定）
**会場：** MoN Takanawa: The Museum of Narratives Box1000
東京都港区三田 3 丁目 16–1
**プログラム：** シンポジウム／最終プレゼンテーション／授賞式
**参加方法：** 一般参加可能・チケット制
**チケット情報：** ONE DAY チケット 1,500 円（ワンドリンク付）
https://ticket.montakanawa.jp/project/V17zrMpMM8
**主催：** 株式会社 YUIMA NAKAZATO LABORATORY
**共催：** 一般社団法人 unisteps、FASHION FRONTIER PROGRAM 実行委員
**後援：** 環境省
**パートナー企業（五十音順）：** 株式会社ゴールドウイン、セイコーエプソン株式会社、株式会社大丸松坂屋百貨店、YKK 株式会社
**連携機関：** MoN Takanawa: The Museum of Narratives
詳細は、FFP 公式ウェブサイト（https://ffp.jp）および、MoN Takanawa 公式ウェブサイトプログラムページ（https://montakanawa.jp/programs/ffp2026/）をご確認ください。

| 時間 | プログラム内容（予定） |
|---|---|
| 12:30 – 16:00 | シンポジウム<br>昨年度受賞者作品発表 / ファイナリストによる最終プレゼンテーション |
| 16:00 – 18:00 | 作品展示 / 昨年度受賞者・ファイナリストとの交流タイム |
| 18:00 – 19:00 | 授賞式 |
| 19:00 – 20:20 | カクテルパーティー |
| 20:30 | 終了 |

*シンポジウム / 昨年度受賞者作品発表 / ファイナリストによる最終プレゼンテーション および 授賞式中は、途中入退場はご遠慮いただきますようお願いいたします

## FASHION FRONTIER PROGRAM について

FASHION FRONTIER PROGRAM は、ファッションデザイナーの中里唯馬が発起人となりスタートした、ファッションの未来を担う人材を発掘・育成するプログラムです。
ファッションを単なる衣服やトレンドとして捉えるのではなく、社会や環境と深く関わるものとして考え、創造性と社会的責任を両立させながら、新しい価値観や未来のあり方を提示することを目指しています。
プログラムでは、さまざまな領域の専門家による講義やフィードバック、パートナー企業との取り組みを通して、参加者が自身の問いと向き合い、それをファッションという表現へと発展させていきます。
**公式ウェブサイト：** https://ffp.jp/
**公式 Instagram：** https://www.instagram.com/ffp.jp/

## MoN Takanawa: The Museum of Narratives について

伝統からマンガ、音楽、宇宙まで。文化の実験的ミュージアムです。2026 年 3 月に開館しました。「100 年先へ文化をつなぐ」をミッションに、これまで育まれてきた伝統や文化に現代の価値観やテクノロジーを融合させ、より広い時間軸と国内外のパートナーとともに国際的な共創、交流、発信を行っていきます。The Museum of Narratives の頭文字「MoN」には、新たな自分と出会う新しい世界への「門」、そして、未来を考え創造するための「問（問い）」の２つの意味が込められています。（一般財団法人 JR 東日本文化創造財団が運営）



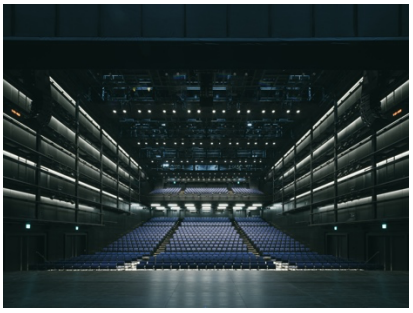


Photo:Yasuyuki TAKAKI

## MoN クリエイティブ・パートナーについて

「MoN Takanawa では、領域を横断して表現やものづくりを行うさまざまなクリエイターやアーティストをパートナーとして、工芸やファッション、音楽など、それぞれの活動領域の未来をつくるための実験的な試みを展開しています。

## シンポジウム登壇者｜詳細プロフィール

**小泉智貴（TOMO KOIZUMI｜ドレスデザイナー / 美術作家）**
1988 年千葉県生まれ。15 歳より独学でドレス作りを開始。2011 年、ブランドを設立。2019 年、NY で初のショーを開催し、作品がメトロポリタン美術館に永久所蔵される。2020 年、LVMH プライズ受賞。2021 年、東京五輪開会式にて MISIA の衣装を担当。2022 年より美術作家としても活動を開始し、京都国立近代美術館やポーラ美術館の企画展に参加。ファッションとアートを横断した表現を続けている。

**舘鼻則孝（NORITAKA TATEHANA｜アーティスト）**
東京藝術大学美術学部工芸科卒業。伝統的な日本文化を現代の視点から再解釈する「Rethink」をコンセプトに、アートとファッションの領域を横断した制作活動を行う。花魁の高下駄に着想を得た《Heel-less Shoes》は、身体構造と美意識の関係性を問い直す作品として国際的に評価され、メトロポリタン美術館やヴィクトリア＆アルバート博物館などに収蔵されている。近年は彫刻に加え、絵画へと表現を拡張し、分野の境界を越えることで生まれる新たな表現の可能性を探求している。

**津野青嵐（アーティスト / ファッションデザイナー / 看護師）**
1990 年生まれ。2026 年、東京科学大学大学院修士課程修了。山縣良和主宰のファッションスクール「coconogacco」で学んだ後、当事者研究発祥の地である北海道の「浦河べてるの家」で看護師として勤務。精神看護、当事者研究、ファッションデザインを横断し、衣服の共同制作や自身の体の経験を手がかりに、ままならない体との付き合い方を探っている。衣服や映像などの作品制作に加え、『文學界』でのエッセイ連載など、文筆活動にも取り組む。主な展覧会に「ボディ、大丈夫です/Body, I'm Fine」（せんだいメディアテーク、2026）、「Spilling Body」（EUKARYOTE、2026）、「Costume Art」（メトロポリタン美術館、ニューヨーク、2026）、「アペルト 20 津野青嵐 共にあれない体」（金沢 21 世紀美術館、2025）など。

**中里唯馬（YUIMA NAKAZATO｜ファッションデザイナー）**
1985 年生まれ。2008 年、ベルギー・アントワープ王立芸術アカデミーファッション科を卒業。2016 年 7 月にはパリ・オートクチュール・ファッションウィーク公式ゲストデザイナーの 1 人に選ばれ、現在に至るまで日本人で唯一、パリ・オートクチュール・ファッションウィークにてコレクションを発表し続けている。近年では、単独回顧展”BEYOND COUTURE”がフランスの公立美術館であるカレー・レース・ファッション美術館にて開催された。アメリカのボストン・バレエ・団やスイスのジュネーブ国立劇場などで行われるオペラやバレエ等、舞台芸術の衣装デザインを行う。また、自らが発起人となり、未来を担う次世代のクリエイターのためのファッション・アワード FASHION FRONTIER PROGRAM を創設。

**林ひかり（Hikari Hayashi｜アーティスト / ファッションデザイナー）**
ファッションを軸に、衣服と身体、ものと人、都市との関係を見つめながら制作を行う。「解す」という行為を通して、既存の衣服や布をほどき、形を変えることで、ものが持つ時間や痕跡、関係性の変化を探っている。2025 年 coconogacco 卒業。Chika Kisada とのコラボレーションで Rakuten Fashion Week TOKYO 2026 S/S に参加。Fashion Frontier Program 2025 グランプリ受賞。

**山縣良和（writtenafterwards｜writtenafterwards 代表 / coconogacco 代表）**
1980 年、鳥取県生まれ。2005 年、セントラル・セント・マーチンズ美術大学ファッションデザイン学科を卒業。2007 年にファッションレーベル「writtenafterwards」を設立。「装うことの愛おしさを伝える」をコンセプトに、既成概念にとらわれないファッション表現を追求する。2009 年、オランダ・アーネム・モード・ビエンナーレにてオープニングファッションショーを開催。2015 年には日本人として初めて LVMH Prize にノミネートされる。また、ファッション表現の実験と学びの場「coconogacco（ここのがっこう）」を主宰し、多くのデザイナーやアーティストを輩出。2021 年、第 39 回毎日ファッション大賞 鯨岡阿美子賞を受賞。近年は美術館での作品発表も精力的に行い、2024 年にはアーツ前橋にて個展「ここに いても いい」を開催。

<本件に関するお問い合わせ>
MoN Takanawa: The Museum of Narratives
広報担当 press@montakanawa.jp